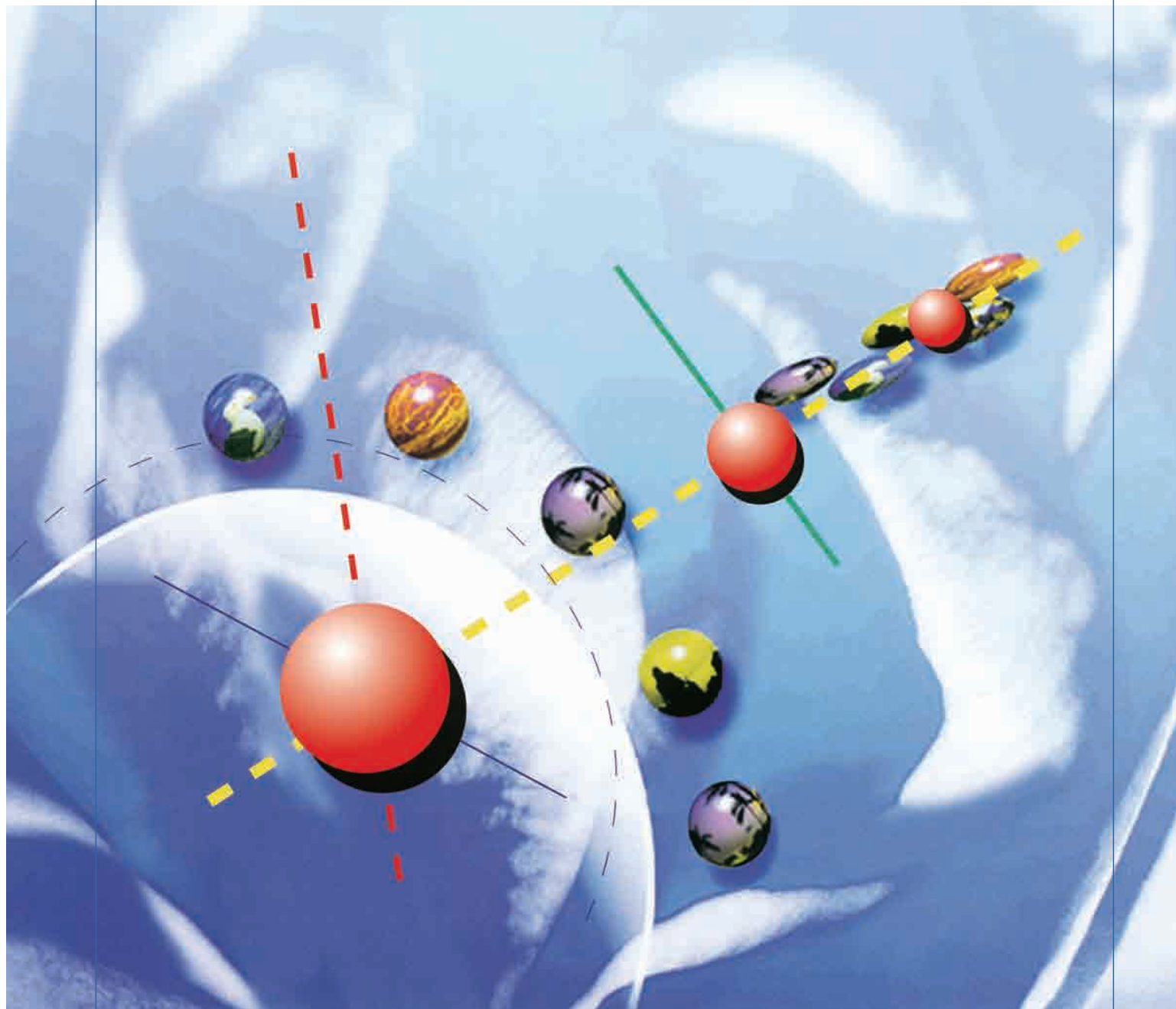


補修・改修施工業者の全国ネットワーク

外壁補修・防水工事・耐震補強工事・塗装工事・
ビル/マンションリフォーム工事は私達にお任せ下さい



アサヒボンド工業会

事務局 〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7
TEL03-3972-4909 FAX03-3972-4583
<http://www.asahibond-kai.jp/>
E-mail:info@asahibond-kai.jp

より良い材料をもとに、より信頼できる施工技術で より良い建築リフォーム&リニューアルに貢献します。

■ はじめに

アサヒボンド工業会は1983年3月に設立され、全国より参画した優れた建築補修施工業者の集団で、外壁補修工事、防水工事、耐震補強工事、塗装工事、総合リフォーム工事等を行う業者（正会員）から成り立っています。

接着剤メーカーであるアサヒボンド工業は1965年に設立され、1967年に原爆ドームの補修材料の納入以来、一貫して補修・改修材料を施工業者に提供してきた会社で特別会員として当工業会に参画しております。当工業会は同社と営業・技術の両面から提携を密にしております。

また当工業会は副資材メーカー及び材料販売会社を賛助会員として参画してもらい製造・販売・施工のいずれの分野でも十分対応できる体制を整えています。

当工業会は新材料、新工法の開発・普及、施工技術の向上、環境対策等をたゆまず、他に先駆けて実行し、最良の施工を皆様にお届けしています。

特に最近では鋼構造物防錆塗装UF（アンダーフィックス）工法、50センチ直張りタイル仕上の浮き注入工法のプレスダウングラウト工法、特殊コンクリートビスを使ったPDピンニングエポキシ樹脂注入工法など、画期的な新工法を提供しております。また、日本初の注入できる弾性接着剤のアサボン弾性Gは各方面から注目されています。

今後も、ますます研鑽に努め、最良の施工を提供することによって、より良い建物、より良い都市づくりに貢献していく所存でございますので、皆様方のご支援・ご愛顧を心からお願いいたします。

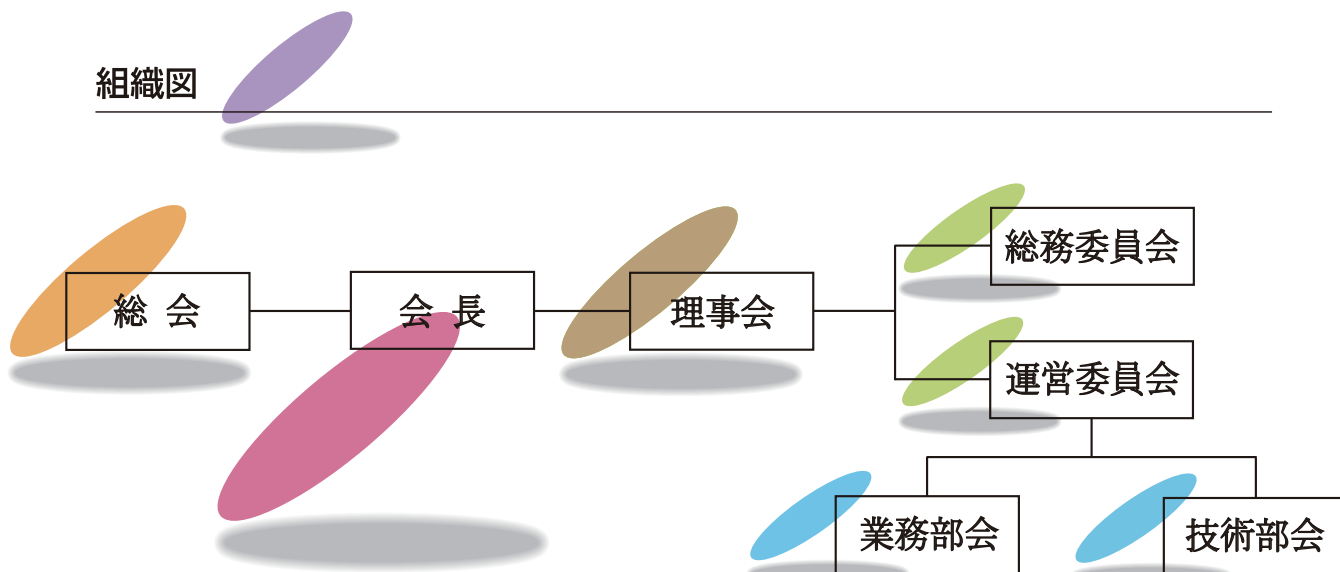
■ 工業会概要

名称	アサヒボンド工業会
所在地	東京都板橋区大谷口北町3-7
設立	1983（昭和58）年3月18日
会員	120社

■ 主な事業

新材料・新工法の開発・普及
鋼構造物防錆塗装UF工法の普及
耐震補強ハイゼラス工法の普及
プレスダウングラウト工法の普及
PDピンニングエポキシ樹脂注入工法の普及
各種技術講習会の開催
各種技術情報の提供
職業訓練法に基づく技能検定の推進及び協力
設計価格の立案
工業会団体保険の普及
共同広告宣伝事業
会員購入奨励金制度の普及
会報の発行
ホームページの拡充・更新

組織図



■ 職務分担

総務委員会 ・ 会則の改廃・立案に関する事項
 ・ 上部団体・関連団体との対応に関する事項
 ・ 総会と理事会の開催及び運営に関する事項
 ・ 委員会の変更に関する事項
 ・ 他の委員会に属さない事項

運営委員会 ・ 新材料・新工法の開発・普及に関する事項
 ・ 技術講習会の開催に関する事項
 ・ 公的資格技能検定に関する事項
 ・ 各種技術情報の提供に関する事項
 ・ 会員購入奨励金制度に関する事項
 ・ 設計価格及び広告宣伝に関する事項
 ・ 団体保険取り扱いに関する事項
 ・ 会報の発行に関する事項
 ・ ホームページの更新に関する事項

■ 最近の主な活動

2017年 技術講習会（タイル剥離の要因、タイル張り用接着剤の概要）開催
 第35回総会開催（東京・中野サンプラザ）
 プレスダウングラウト工法施工技能士認定講習会開催（東京・大阪）
 技術講習会（プレスダウングラウト工法の効果研究結果）開催
 PDピンニングエポキシ樹脂注入工法の研究・開発

2018年 第36回総会開催（北海道・登別グランドホテル）
 プレスダウングラウト工法施工技能士認定講習会開催

2019年 第37回総会開催（東京・中野サンプラザ）
 プレスダウングラウト工法施工技能士認定講習会開催
 弾性注入材・アサボン弾性Gの研究・開発

2020年 技術講習会（監理者から見た補修工事の問題点）開催
 第38回総会をWeb会議にて開催

2021年 第39回定期総会をWeb会議にて開催

2022年 会報・創立40周年記念号発行
 第40回定期総会（広島・ホテルグランヴィア広島）

2023年 技術講習会（外装タイル張り接着剤の実装と課題他）開催
 第41回定期総会開催（東京・KKRホテル東京）



● プレスダウングラウト工法施工技能士認定講習会



● 技術講習会



● 東日本大震災被災地視察



● プレスダウングラウト工法特許証



● 施工現場見学会

§ 会員による具体的な施工例（外壁補修・防水工事）



●外壁補修工事（東京・豊島団地）

躯体や仕上げ材に発生した劣化現象に対し適切に対応し、建物の耐久性を高めています。



●東大・安田講堂

古き良き外観を保存するために、タイル剥離部分・空隙部分にエポキシ樹脂を注入し、アンカーピンによりタイル張り仕上げ全体を躯体に固定し外壁補修を施しました。



●屋上防水工事（東京・大学学舎）

下地調整材レジアンダーを使用したウレタン塗膜防水の一例です。多種多様の防水工事に対応できます。適切な防水工法を選択し、防水耐久性を高めています。



●赤レンガ倉庫

現行の耐震基準を満たすよう、構造体内部に高圧でエポキシ樹脂を注入し、強度の均一化を図り、躯体の強化と性能確保を実現しました。

§ 鋼構造物防錆塗装UF工法 錆促進要因（塩化物イオン、硫酸イオン）を吸着無害化し、鉄を錆から守る新しい防錆塗装工法です。



マンション縞鋼板外部階段



南極観測船「宗谷」



新潟県佐渡 折板屋根塗替え塗装工事



南阿蘇鉄道 第一白川橋梁

§ プレスダウングラウト工法 当工業会会員専用工法で、特許も取得しています。

モルタル下地のない直張りタイルの浮き補修については、従来の工法では注入孔1穴当たりで僅かしか樹脂を注入できません。無理に注入すると圧力によるはらみの原因になります。また、注入補修ではなくタイルを張替えると既存タイルと風合いが違い、お客様の満足する仕上がりとなりません。

プレスダウングラウト工法は、軽量・高剛性のアルミフレームで押しえ付けて注入するので注入圧によるはらみの心配がなく、浮き部全体に樹脂を注入することができます。また、タイルを張替えないので、意匠を損ねることなく満足のいく仕上がりとなります。

●特許番号：特許第5127945号

